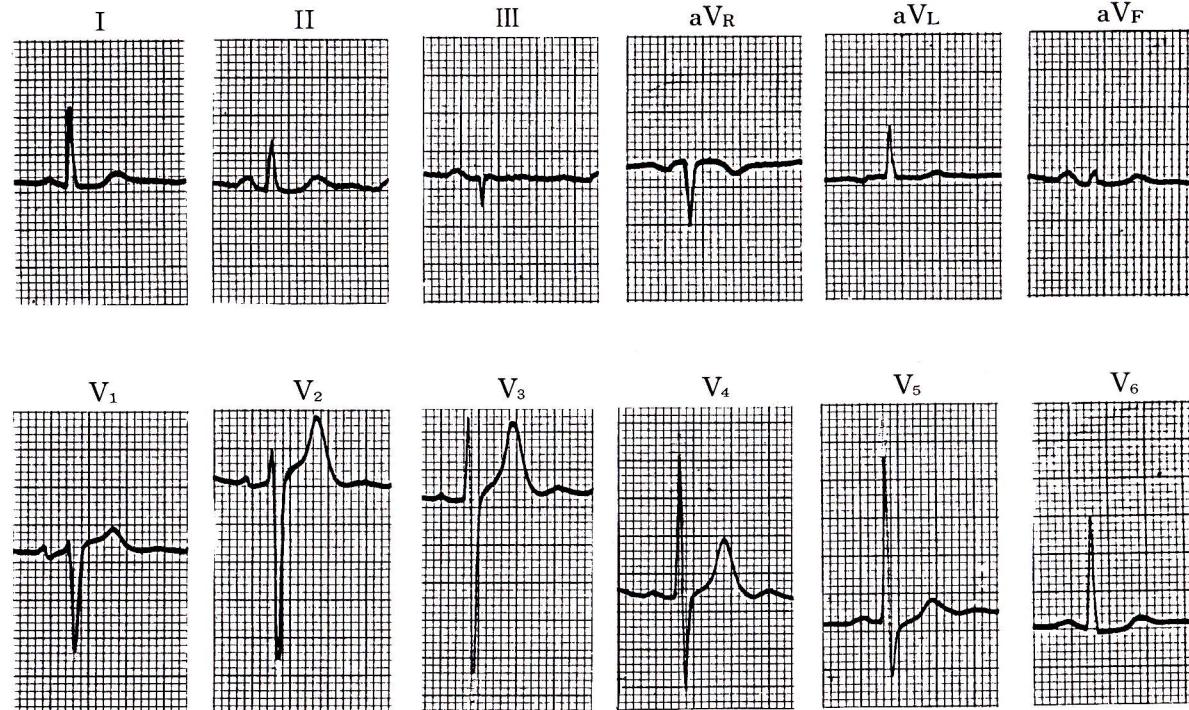


## 症例 2

● 32歳 男

● ときどき動悸を自覚するため精査希望して来院。



17

- 1) IIIでQSパターンがみられるが異常か。
- 2) 前額面電気軸は正常か。

## 正常（横位心）

$aV_F$ でQRS波の振幅がもっとも小さく、( $R-S$ )が0に近い。横位心である。IIIはQSパターンであるが、これは横位心ではよくみられる所見であり、II,  $aV_F$ に有意なQ波がないため下壁梗塞とはいえない。 $V_5$ ,  $V_6$ のT波はR波に比

し、やや低く、 $V_6$ のST部分も水平型で0.5mm程度低下しているが、心筋傷害をとるほどではない。 $V_1$ のP波が2相性であるが、陰性部分は小さく、見過ごしてよい所見である。

### MEMO

#### 〈前額面(平均)QRS電気軸〉

18

前額面電気軸は $+110^\circ \sim -30^\circ$ の間が正常であり、 $0^\circ$ に近いものを水平位心、 $+90^\circ$ に近いものを垂直位心という。電気軸が $-30^\circ \sim -90^\circ$ の間にある場合を左軸偏位、 $+110^\circ \sim +180^\circ$ の間を右軸偏位とする。 $-90^\circ \sim -180^\circ$ の間は高度の右軸偏位でも高度の左軸偏位でもありうるため、過度の軸偏位とする。

前額面QRS軸と心臓の解剖学的な長軸とは必ずしも一致しない。QRS電気軸は解剖学的心軸より敏感に変化し、心臓の位置ないし形態異常の早期診断に役立つ。

